

# 令和4年度全国学力・学習状況調査結果（4.19結果）について

令和4年4月19日に、小学校6年生・中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果をまとめたものです。

## I 調査の趣旨

### 1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査

(ア) 国語・数学・理科の3教科について、調査を実施します。

(イ) 出題範囲は、中学校第2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとします

1. 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
2. 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

(ウ) 調査問題では、上記(イ)1と2を一体的に問うこととします。

##### イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施します。

#### (2) 学校に対する調査（学校質問紙）

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施します。

## II 調査の結果（帯広市立南町中学校）

この調査は文部科学省も注意を喚起しているように学力のすべてを表しているものではありません。

### 今年度の結果

- 国語：全国平均を上回りました。  
数学：全国平均を大きく上回りました。  
理科：全国平均を上回りました。

### Ⅲ 調査結果の特徴

#### 1. 「教科に関する調査」の分析と対策

##### (1) 国 語

【結 果】 平均正答率 **全国平均を上回る**

[知識及び技能] ○言葉の特徴や使い方に関する事項 **全国平均を上回る** ○情報の扱い方に関する事項 **全国平均を下回る**  
○我が国の言語文化に関する事項 **全国平均を上回る**

[思考力、判断力、表現力等] ○話すこと・聞くこと **全国平均を上回る** ○書くこと **全国平均を下回る**  
○読むこと **全国平均を上回る**

【成 果】

##### ○全国平均を大きく上回った内容

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。
- ・助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う。
- ・表現の技法について理解する。 ・事象や行為、心情を表す語句について理解する。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。

##### ※生徒質問紙より

- ・国語の授業の内容はよくわかる。 ・国語の勉強は好きだ。 ・国語の勉強は大切だ。

【課 題】

##### ○全国平均を下回った内容

- ・論理の展開などに注意して聞く。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。

【対 策】

- ① 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ② 授業改善 ・対話的な学習を通して課題を解決させる。
  - ・理解したことや自分の考えを、論理立てて書く指導をおこなう。
  - ・長文の要約や推敲の作業をくり返し行い、書く力をつけていく。
  - ・振り返りでどんな力が付いたのかを記述する。

##### (2) 数 学

【結 果】 平均正答率 **全国平均を大きく上回る**

[学習指導要領の領域] ○数と式 **全国平均を上回る** ○図形 **全国平均を大きく上回る**  
○関数 **全国平均を大きく上回る** ○データの活用 **全国平均を大きく上回る**

[評価の観点] ○知識・技能 **全国平均を大きく上回る** ○思考・判断・表現 **全国平均を大きく上回る**

【成 果】

##### ○全国平均を大きく上回った内容

- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。
  - ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる。
  - ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。
  - ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。
  - ・道筋を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- 昨年度の課題（状況を理解して適切に表現する）に改善が見られました。

【課 題】

##### ○全国平均を下回った内容

- ・自然数を素数の積で表すことができる。

##### ※生徒質問紙より

- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。

【対 策】

- ① 習熟度別・少人数学習の充実（課題の見られる単元への集中的な指導、下位層への指導の強化）
- ② 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ③ 授業改善 ・対話的な学習を通して課題を解決させる。 ・普段の生活と学習内容を関連付けた授業を展開する。
  - ・焦点を絞って読み取る方法や、必要な情報を整理する方法を指導する。
  - ・数式や数学用語を使い、道筋を立て、論理的に説明する場면을意図的に設定する。
  - ・振り返りでどんな力が付いたのかを記述する。

### (3) 理科

【結果】 平均正答率 **全国平均を上回る**

[学習指導要領の領域] ○エネルギー **全国平均を大きく上回る** ○粒子 **全国平均を上回る**  
○生命 **全国平均を上回る** ○地球 **全国平均を上回る**

[評価の観点] ○知識・技能 **全国平均を上回る** ○思考・判断・表現 **全国平均を上回る**

#### 【成果】

##### ○全国平均を大きく上回った内容

- ・日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。
- ・モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。
- ・継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通点と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。
- ・考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる。
- ・過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる。
- ・液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。
- ・実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる。

#### 【課題】

##### ○全国平均を下回った内容

- ・飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる。
- ・化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。

##### ※生徒質問紙より

- ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。
- ・理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。
- ・理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している。
- ・理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。

#### 【対策】

- ① 朝読書、朝学習の充実（読解力向上の取組）
- ② 授業改善
  - ・対話的な学習を通して課題を解決させる。
  - ・生徒の予想をもとに観察や実験の計画を立てる。
  - ・普段の生活と学習内容を関連付けた授業を展開する。
  - ・道筋を立て、論理的に説明する場面を意図的に設定する。
  - ・振り返りでどんな力が付いたのかを記述する。

～次ページに続く～

## 2. 「質問紙調査」の分析

### 生徒質問紙調査

#### 【よい傾向】

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 ・新聞をほぼ毎日読んでいる。 ・読書は好きだ。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。
- ・学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

→毎日取り組んでいる「朝読書」の効果が多方面に出ています。また、生徒と教師の信頼関係のもと、道徳性を養うための授業や、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら課題を解決するための取り組みができています。

- ・普段、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などする時間は2時間より少ない。
- ・普段、1日当たりテレビゲームをする時間は2時間より少ない。

→学習以外でメディアに触れる時間の限度を守れている生徒が多いです。1日の生活について振り返り、帰宅してから寝るまでの限られた時間を適切に過ごすことができるよう、ご家庭での見守りを今後もよろしくお願いします。

- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていた。

→生徒自身が学びを実感し、その学びを次の学びへ生かすことができるよう、授業の「振り返り」を計画的に行っています。その効果が結果に表れており、振り返りを通して、昨年度の本校の課題である「自分の考えを持つこと」や、「状況を理解して表現する」ことの改善につながりました。

#### 【課題】

- ・普段、1日1時間以上勉強する。

→確かな学力を育むため、自ら学習計画を立てて実行する家庭学習の習慣化を継続する取組が必要です。

- ・学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使っている。
- ・学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使っている。
- ・学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使っている。

→個別最適な学びや協働的な学びの達成のために、クロームブックの活用方法を工夫する必要があります。

- ・授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ・自分にはよいところがあると思う。 ・人が困っているときは、進んで助ける。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ・将来の夢や目標を持っている。

→教育課程全般を通じた進路指導等の充実を図る必要があります。また、授業において「主体的な学び」や「他者との協働」を行っていると感じた生徒は、「挑戦心」、「達成感」、「規範意識」、「自己有用感」といった自己肯定感と関連の見られる項目に関する意識が高いとの指摘があり、引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を進めていきます。

- ・今住んでいる地域の行事に参加している。

→生徒が地域に誇りと愛情を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加する生徒を育成するために、今後も「おびひろ市民学」の実施や、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて取組を継続していきます。